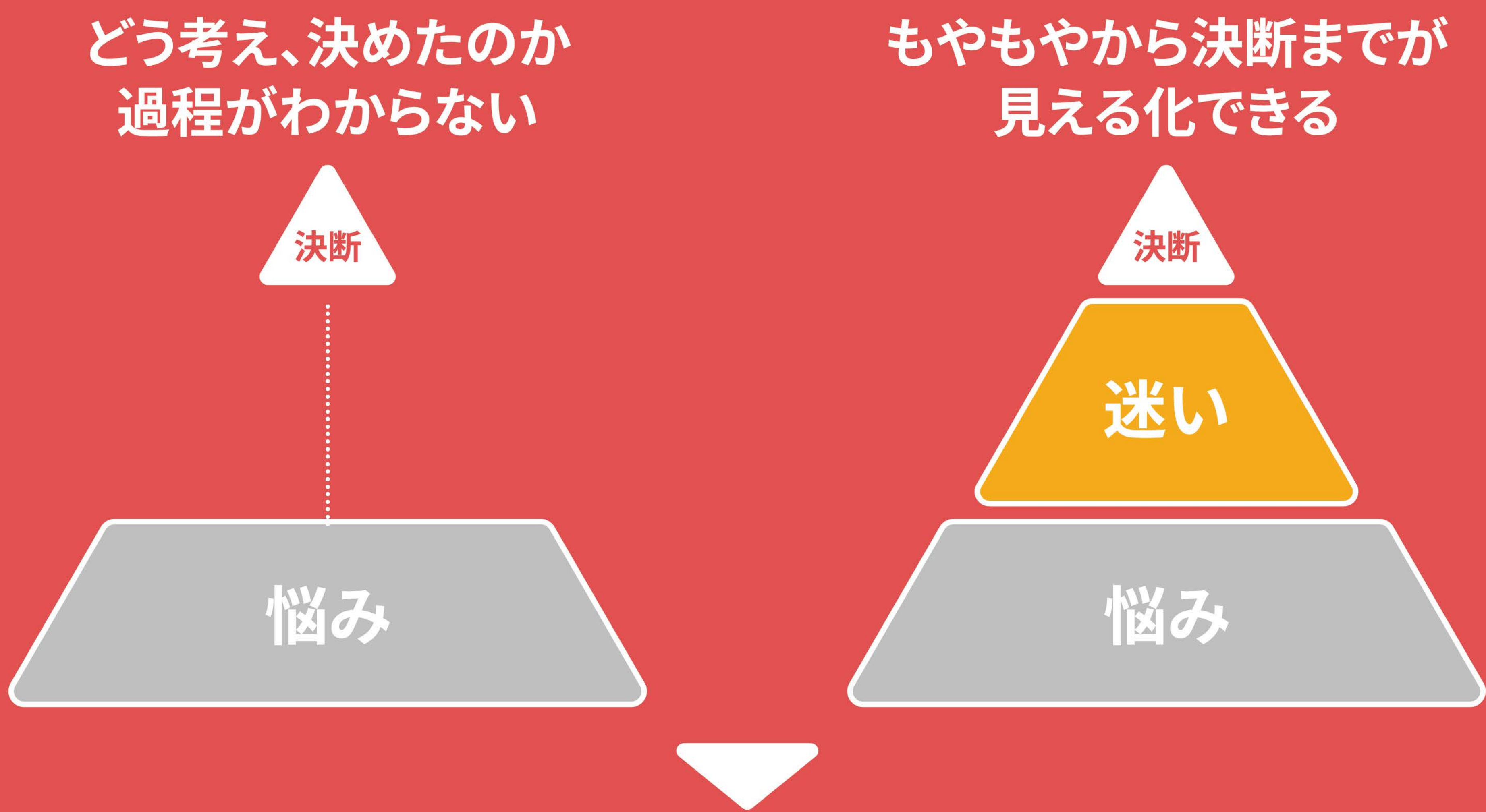


言葉にできない「悩み」を「迷い」にととのえ、チャンスをつかみやすく

高校時代に意思決定を学ぶ人はわずか 13%。そして、周囲に声をかけてくれたり、手助けしてくれる大人も減った寄る辺のない世界を生きています。そのため、人生の重大な決断時に、悩み、孤立し、戸惑うこともしばしば。そこで、意思決定の手法を高校生で学び、進路選択の本番で実践します。目指すところは、生涯のあらゆる場面の選択に伴走できる道具を手渡すこと。表現した「迷い」を通じて、他者と交流すること。「迷っている」状態を肯定し、マネジメント可能にすることです。



1 枚の表で、言葉にできないもやもやした「悩み」を、選択肢・判断基準・優先順位のある「迷い」に整えます。可視化することで、他者へ共有しやすく、チャンスに気づきやすく、遭遇しやすく、掴みやすくなります。

進路選択を考えたケース

		判断基準								総合点
		好奇心		将来的な可能性		ロマン		希望		
重み付け		★★★ ☆☆☆		★★★ ★★★★		★★★ ★★★★☆		★★★ ☆☆☆☆		
選 択 肢	考古学	2	16	2	10	1	4	2	4	26
	地球・宇宙科学	2	6	4	20	3	12	3	3	47
	哲学	4	12	2	10	4	16	4	5	50
	美術学・デザイン	3	9	4	20	1	4	4	3	45

美大志望だけどデッサンに絶望

美術大学に行くために、予備校に通っているが、自分に絵の才能がないことを痛感していた。自分自身も気付いてもらえなかったが、実は哲学や地球・宇宙科学に関心が…？

セカンドキャリアを考えたケース

		判断基準								総合点
		社会への貢献		組織の発展		家族との平和な時間		自分の心身の健康		
重み付け		★★★ ☆☆☆		★★★ ☆☆☆☆		★★★ ☆☆☆☆		★★★ ☆☆☆☆		
選 択 肢	新しいセンターが軌道に乗るまで	5	15	5	10	2	8	4	4	37
	母が寝たきりになるまで	1	3	1	2	5	20	3	3	28
	65 歳まで	3	9	3	6	4	16	5	5	36
	組織に求められるまで	3	9	4	8	3	12	3	3	32

今の所属で何歳まで働くか (別の人生もあるか)

マネジメント(本部長)を退き 2 年目。兼務で新しい組織のセンター長に 4 月から着任

高校生
進路選択

大学生
就職活動

20-30 代
ライフステージの変化
(結婚、出産 etc)

50-60 代
セカンドキャリア
の検討